帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

情報と職業
仕事のための情報システム

中野秀男
情報メディア学科

今日の話

- 就職までの流れとテスト(再掲)
- 前回の質問
- 業界と職種(再掲)
- 情報メディアで変わる仕事
  - 支える情報システム
- 11月16日から始まるゲストスピーカへの質問も書いてください。
  - 昨年までの質問も配布したので参考に

就職までの流れ

- 企業の選考方法
  - 書類選考
    - 履歴書
    - エントリーシート
  - 筆記試験
    - 一般常識テスト
    - 能力テスト：SPIなど
    - 性格適性テスト
  - 面接
  - 内定
  - 入社前研修

テスト

- SPI3
  - 能力適性検査(言語、非言語)
  - 性格適性
- 玉手箱
  - 能力テスト(計数理解テスト、言語理解テスト)、性格テスト
- Web-CAB: IT業界で多数
  - 能力適性検査(暗算、法則性、命令表、暗号)
  - 性格適性検査
- 企業独自の一般常識テスト

質問(1)

- 授業中もモスキート音がする
- SPIの試験は4限を全部使うのか
- SPIのテストは数学か
- SPIの対策とか教えて欲しい
  - 特に数学はネットではわからない
- ITパスポートか基本情報のどちらを優先して試験を受ければいいか
- MOSの次はITパスポートだが次は
- 会社からは勤勉な学生が欲しい
- ITの人材は情報の勉強だけでいいか、それとも資格が必要か
- 日程表は手書きの方がいいか

質問(2)

- したい仕事が見えない。ゼミの選択もあるし不安
- 仕事ができても人間関係が上手でないと仕事しにくのでは
- ゲーム業界をどう思うか
- Unityをどう思うか
- 情報システムの内製化がわかりにくかった
- GAFAにMicrosoftは入らないか
- 就活の解禁ルールがなくなるが、どうなるか
- 広告系やゲーム系はどんな感じ。資格は

質問(3)

- 本社採用と現地採用では給料の差は
- 地域採用されたら、その地域でしか仕事をしないのか
- キャリアセンターには具体的な業界を決めてなくても利用してもいいか
- IT・情報の仕事ってそんなに人が足りないか
- 次に来るYoutuberのようなものは何か
- キッズラインのYoutuber
- オリンピックのボランティアの問題はどう思いますか
  - 医者までボランティア

情報システムの内製化

- 内製化
  - 自組織のシステム構築や運用を全て外部委託するのではなく
  - 外部委託の部分と自組織で責任を持つ範囲を取り決めて
  - なるべく多く自組織の要員でまかなえるようにする
- 例
  - OSS(オープンソース系)のシステムを使って、構築は外部委託して、運用では責任範囲を決めて、自組織と外部で分担
  - ホームページ制作をWordpressのようなCMSで構築・運用
  - 自組織の情報システムをプロバイダを使って運用
    - メールの運用
    - ホームページの運用

業界と職種

- 業界
  - 製造：素材、電機・機械、生活関連用品
  - IT・通信・インターネット、エネルギー、交通・運輸
  - 建設・不動産・住宅
  - 金融、流通・小売
  - サービス・レジャー・アミューズメント
  - マスコミ、商社・教育・人材・コンサルティング

業界と職種

- 職種
  - 営業
  - 事務・スタッフ関連職
  - 企画・マーケティング
  - 技術関連職：メーカー系
  - 技術関連職：IT・通信・インターネット系
  - 金融スペシャリスト
  - 流通・サービス関連職
  - 制作関連職

働く環境と労働観の変化(1)

- 働く環境の変化
  - 企業のアイデンティティ
  - 個人のアイデンティティ
  - 専門性の向上と資格取得
    - 各業務のスペシャリスト(専門職)に vs ジェネラリスト(一般職)
  - 人事制度の変化
  - ビジネスのグローバリゼーション
    - vs 地域に特化したローカリゼーション
  - ビジネスのスピード化

働く環境と労働観の変化(2)

- 職場環境の変化
  - 在宅勤務
  - SOHO: Small Office/Home Office、サテライトオフィス
  - モバイルオフィス
  - コワーキング、コワーキングスペース
  - 自分の机のない職場
  - ラーニングコモンズ
- 仕事内容の変化
  - 販売員の存在意義
  - 中間管理職の存在意義：運用部門/会社と開発企画部門/会社
  - 電子メールやグループウェアによる社内コミュニケーション

働く環境と労働観の変化(3)

- 職場での情報リテラシー
  - パソコンでの文書管理能 → デザインや映像にも
  - パソコンのシステム管理 → クラウド利用とPC、タブレット、スマホに
- 情報化による業務内容の変化
  - 鉄道の改札業務
  - 銀行の窓口業務
  - 旅行代理店
- 企業の情報化と求められる人材の変化
  - 情報システムに対する基礎的な知識を将来を読む力
  - 企画提案力
  - プロジェクトを管理する力
  - 業務改善のための高い視点

働く環境と労働観の変化(4)：個人

- PIM: Personal Information Management
- 組織としても情報システム
- それを使う個人の情報システムや暮らしの情報システム
  - PIMやOffice Suite
- PIM
  - 予定表
    - 年月日、時間帯、要件、カテゴリー、他の参加者、場所
  - アドレス帳
    - 氏名、ふりがな、職場名、部署、役職、住所、電話、FAX
    - 職場や個人のメアド、家族の名前、誕生日
  - 仕事リスト
    - 要件、カテゴリー、納期、重要度、タグ

働く環境と労働観の変化(5)：アプリやシステム

- 業務別システム
- Supply Chain Management(SCM)
  - 供給連鎖管理とは、物流システムをある1つの企業の内部に限定することなく、複数の企業間で統合的な物流システムを構築し、経営の成果を高めるためのマネジメント手法である。
- グループウェア
  - 帝塚山学院大学では「ガルーン」を利用開始
  - 無料版だと「サーボーズライブ」
- SAP
  - ドイツにあるSAP社が出している企業の経営資源などを有効に活用し、経営関係を効率化するために、基幹業務を部門ごとではなく総合的に管理するためのERPパッケージ

働く環境と労働観の変化(6)：アプリやシステム

- Redmine
  - Redmineはプロジェクト管理ができるオープンソースソフトウェアです。やるべき作業を記録・管理したり社内で情報共有ができます。例えば、チームでシステム開発を進める場合に誰がいつまでに何をやるのか、現在どのくらい進んでいるのかをRedmineに記録することで進捗状況を明らかにし計画通りに進むよう支援します。
- Git
  - プログラムのソースコードなどの変更履歴を記録・追跡するための分散型バージョン管理システムである。
- LMS
  - 学習支援システムの基盤部
  - C-learningが一つの例、世界的にはMoodleがオープンなもの
- メールとメイリス
  - 基本的なコミュニケーションツール
  - メイリスは「オープン系」「クローズ系」「メルマガ」と変化

16 情報と職業 仕事のための情報システム 2018/11/2 帝塚山学院大学 TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

働く環境と労働観の変化(7)：アプリやシステム

- クラウドとオンプレ
- AWS
  - アマゾン ウェブ サービスは、信頼性と拡張性に優れたクラウドコンピューティングサービスを低料金で提供します。アカウント作成は無料。料金はご利用分だけです。
- Office360
  - いつでも、どこでも最新の Office が使えることに加え、電子メール、スケジュール、ドキュメントの共有、オンライン会議、インスタント メッセージング、Web アプリケーションなどの生産性を上げるサービスに、どこからでも確実にアクセスできます。
- GoogleDocs

17 情報と職業 仕事のための情報システム 2018/11/2 帝塚山学院大学 TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY